

奥州市景気動向調査

実績：令和6年1月～令和6年3月期 見通し：令和6年4月～令和6年6月期

令和6年5月

調査機関：奥州商工会議所・前沢商工会

◇今期のポイント

「業況・売上DI共に3期連続の悪化を示す 見通しも依然厳しい見立て」

- 全産業合計の業況DIは▲16.4と、前回調査(▲10.5)から5.9ポイント悪化した。
- 全産業合計の売上DIは▲12.9と、前回調査(▲12.2)から0.7ポイント悪化した。
- 向こう3ヵ月(4月～6月)の先行き見通しは、業況DI・売上DI共に今期実績よりも悪化する見通しとなった。
- 採算DI・資金繰りDI・仕入単価DIは前回よりも悪化を示し、従業員DIは前回調査よりも人手不足感が強まる結果となった。

今回の調査では、全産業合計の業況DIは前回調査から5.9ポイント下落して▲16.4となり大幅な悪化を示した。売上DIについては前回調査から0.7ポイント下落して▲12.9の悪化となったが下落幅は小さかった。

これを業種別でみると、業況DIにおいては建設業・サービス業での悪化幅が大きく、小売業・製造業はほぼ横ばい、卸売業は改善の傾向を示しており、業種間での格差幅が広がっている事が伺える。売上DIにおいては、小売業・卸売業・建設業では改善の傾向が見られるが、製造業で悪化、サービス業においては大幅な悪化傾向を示しており、業種による価格転嫁への取り組みの差が垣間見られる結果となった。

経営課題については、1番目が「売上の不振」、2番目が「利益の伸び悩み」、3番目が「経費の削減」という結果になった。また「人手不足」「人材育成の遅れ」についても企業にとって重要な経営課題として捉えられている。

借入金残高の昨年対比については、昨年よりも「増加した」が12.1%、「変わらず」が31.4%、「減少した」が32.7%、「借入金は無い」が23.8%となった。借入金の主な利用目的については、「設備の増設や新設」「設備の改修・補修」等設備資金の利用が多く、「人件費の支払い」「商品の仕入れ」「買掛金の支払い」等運転資金の利用も多く回答が寄せられた。

自由意見では「商品が値上がりして困る」「物価、光熱費が上昇している」等、依然今後の景気に厳しい見方をしている。

〔 調査要領 〕

- 調査期間：令和6年4月1日～23日
- 調査方法：奥州市内の事業所から業種・規模を勘案して抽出した300事業所に対しFAXによるアンケート調査を実施
- 調査項目：令和6年1月～令和6年3月の業況、売上、採算などについての状況及び自社が直面する問題点等

《調査票回収企業数》

回答数233 回収率77.7% (小売43・卸売25・製造51・建設48・サービス66)

※景況判断指数(DI値)について

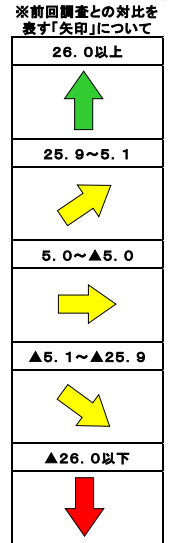
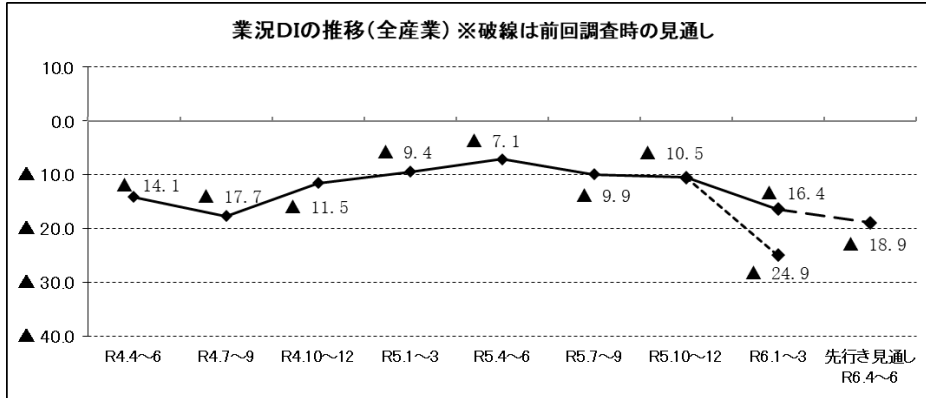
DI値は、業況・売上・採算等の各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がりの意味する。

$$\diamond DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$$

【業況D Iの推移】

今回調査の全産業合計の業況D Iは▲16.4と、前回調査(▲10.5)から5.9ポイント悪化した。業種別では卸売業が▲20.0(前回調査▲28.8)と8.8ポイントの改善を示した。一方で、小売業が▲14.0(前回調査▲13.3)と0.7ポイントの悪化、製造業が▲27.5(前回調査▲26.9)と0.6ポイントの悪化、建設業が▲21.3(前回調査▲12.2)と9.1ポイントの悪化、サービス業が▲4.5(前回調査14.1)と18.6ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(4月~6月)の業況D Iの先行き見通しについては▲18.9と、前回の調査見通し(▲24.9)よりも改善しているが、今期実績よりも悪化する見通しとなった。業種別では小売業・卸売業・製造業・建設業で数値が改善の見通し、サービス業で数値が悪化の見通しを示している。



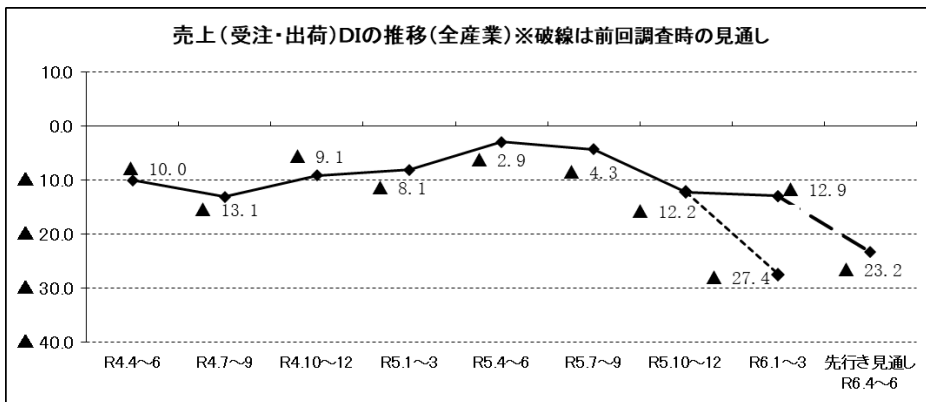
業況DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲14.0	↗ ▲20.0	↘ ▲27.5	↘ ▲21.3	↘ ▲4.5
前回	▲13.3	▲28.8	▲26.9	▲12.2	14.1
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲23.3	↗ ▲24.0	↘ ▲27.5	↘ ▲22.9	↘ ▲4.5
前回	▲31.8	▲46.4	▲30.8	▲34.0	1.6

【売上D Iの推移】

今回調査の全産業合計の売上D Iは▲12.9と、前回調査(▲12.2)から0.7ポイント悪化した。業種別では小売業が▲14.0(前回調査▲17.8)と3.8ポイントの改善、卸売業が▲20.0(前回調査▲25.0)と5.0ポイントの改善、建設業が▲6.4(前回調査▲20.4)と14.0ポイントの改善を示した。一方で、製造業が▲27.5(前回調査▲25.0)と2.5ポイントの悪化、サービス業が▲3.0(前回調査14.1)と17.1ポイントの悪化を示している。

向こう3ヵ月(4月~6月)の売上D Iの先行き見通しについては▲23.2と、前回の調査見通し(▲27.4)よりも改善しているが、今期実績よりも悪化する見通しとなった。業種別では小売業・卸売業・建設業で数値が改善の見通し、製造業・サービス業で数値が悪化の見通しを示している。



売上DI業種別

実績	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲14.0	↗ ▲20.0	↘ ▲27.5	↘ ▲6.4	↘ ▲3.0
前回	▲17.8	▲25.0	▲25.0	▲20.4	14.1
見通し	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	↘ ▲32.6	↗ ▲24.0	↘ ▲31.4	↘ ▲20.8	↘ ▲12.1
前回	▲38.6	▲39.3	▲25.0	▲42.0	▲4.8

【採算・資金繰り・仕入単価・従業員D I】

採算DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 28.6	▲ 18.6	▲ 40.0	▲ 38.0	▲ 29.8	▲ 22.7
前回	▲ 19.7	▲ 22.2	▲ 39.3	▲ 34.6	▲ 24.5	6.3
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 26.0	▲ 23.3	▲ 40.0	▲ 32.0	▲ 25.0	▲ 18.5
前回	▲ 30.8	▲ 29.5	▲ 46.4	▲ 36.5	▲ 40.0	▲ 12.7

全産業合計の採算DIは▲28.6と、前回調査(▲19.7)から8.9ポイント悪化した。業種別では小売業で数値が改善、卸売業・製造業・建設業・サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

資金繰りDI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 17.2	▲ 14.0	▲ 16.0	▲ 21.6	▲ 14.9	▲ 18.2
前回	▲ 10.5	▲ 20.0	▲ 10.7	▲ 17.3	▲ 8.2	0.0
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 15.5	▲ 18.6	▲ 16.0	▲ 18.0	▲ 10.4	▲ 15.2
前回	▲ 20.8	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 23.1	▲ 34.0	▲ 6.5

全産業合計の資金繰りDIは▲17.2と、前回調査(▲10.5)から6.7ポイント悪化した。業種別では小売業で数値が改善、卸売業・製造業・建設業・サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値=(好転)-(悪化)

仕入単価DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 74.7	▲ 69.8	▲ 75.0	▲ 70.6	▲ 82.6	▲ 75.4
前回	▲ 70.9	▲ 84.4	▲ 70.4	▲ 64.7	▲ 69.4	▲ 67.7
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	▲ 67.1	▲ 62.8	▲ 70.8	▲ 62.7	▲ 80.4	▲ 62.5
前回	▲ 59.8	▲ 63.6	▲ 70.4	▲ 46.2	▲ 62.0	▲ 62.3

全産業合計の仕入単価DIは▲74.7と、前回(▲70.9)から3.8ポイント悪化した。業種別では小売業で数値が改善、卸売業・製造業・建設業・サービス業で数値が悪化を示している。

※DI値=(下落)-(上昇)

従業員DI

実績	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	36.2	36.6	20.0	17.6	52.2	45.5
前回	31.9	18.2	14.3	19.2	52.0	43.8
見通し	全産業	小売	卸売	製造	建設	サービス
今回	38.7	34.1	16.0	23.5	57.4	48.5
前回	31.8	18.6	17.9	23.1	50.0	39.7

全産業合計の従業員DIは36.2と、前回(31.9)から4.3ポイント人手不足感が強まる結果となった。業種別では小売業・卸売業・建設業・サービス業で人手不足感が強まり、製造業で人手不足感が緩和する結果となった。

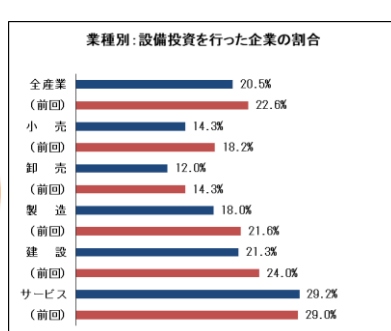
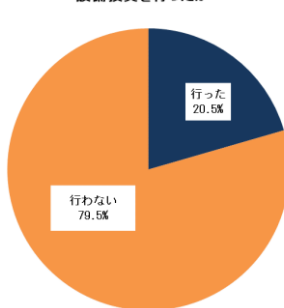
※DI値=(不足)-(過剰)

【経営環境】

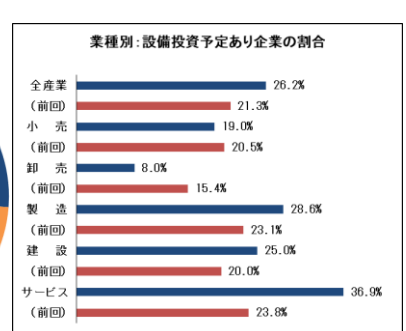
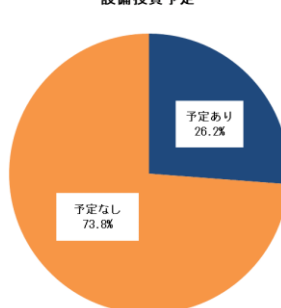
天候の影響(%)	好影響	影響なし	悪影響	人件費率(%)	上昇	変化なし	低下	業種間競争(%)	緩和	変化なし	激化
全産業	8.8%	67.7%	23.5%	全産業	43.0%	54.4%	2.6%	全産業	0.9%	69.7%	29.4%
(前回)	11.5%	68.4%	20.1%	(前回)	43.1%	54.3%	2.6%	(前回)	1.3%	68.4%	30.3%
小売業	4.9%	73.2%	22.0%	小売業	30.0%	67.5%	2.5%	小売業	2.4%	70.7%	26.8%
(前回)	11.6%	58.1%	30.2%	(前回)	42.9%	54.8%	2.4%	(前回)	0.0%	65.9%	34.1%
卸売業	16.0%	48.0%	36.0%	卸売業	20.0%	80.0%	0.0%	卸売業	0.0%	68.0%	32.0%
(前回)	7.1%	60.7%	32.1%	(前回)	39.3%	53.6%	7.1%	(前回)	3.6%	57.1%	39.3%
製造業	2.1%	89.6%	8.3%	製造業	44.0%	56.0%	0.0%	製造業	0.0%	75.0%	25.0%
(前回)	0.0%	90.2%	9.8%	(前回)	44.2%	55.8%	0.0%	(前回)	2.0%	72.5%	25.5%
建設業	21.3%	53.2%	25.5%	建設業	55.3%	42.6%	2.1%	建設業	2.1%	50.0%	47.9%
(前回)	24.5%	53.1%	22.4%	(前回)	52.1%	45.8%	2.1%	(前回)	0.0%	67.3%	32.7%
サービス業	4.6%	66.2%	29.2%	サービス業	50.0%	43.9%	6.1%	サービス業	0.0%	80.3%	19.7%
(前回)	12.7%	73.0%	14.3%	(前回)	37.1%	59.7%	3.2%	(前回)	1.6%	72.6%	25.8%

天候の影響は、全産業で好影響が8.8%、影響なしが67.7%、悪影響が23.5%の回答となった。人件費率は、全産業で上昇が43.0%、変化なしが54.4%、低下が2.6%という回答となった。業種間競争は、全産業で緩和が0.9%、変化なしが69.7%、激化が29.4%という回答となった。

設備投資を行ったか



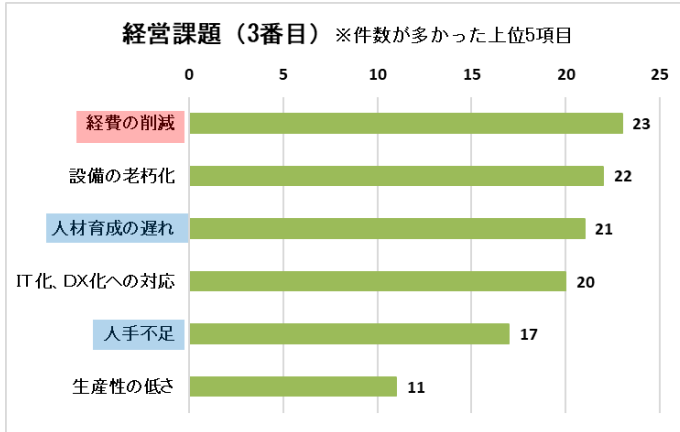
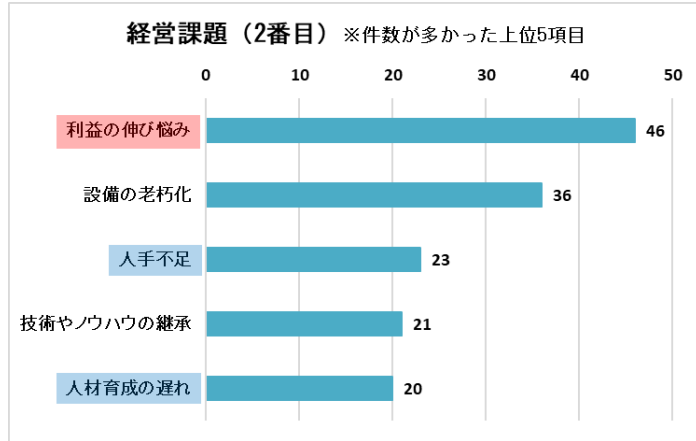
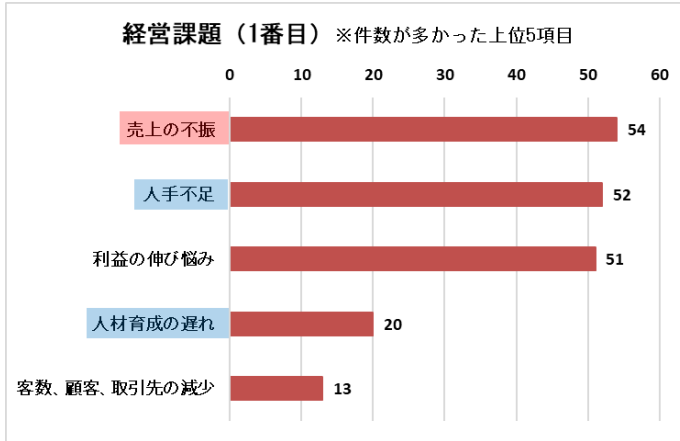
設備投資予定



設備投資は全産業で20.5%の事業所が「行った」と回答があり、前回数値(22.6%)よりも減少した。今後、設備投資の予定があると答えた事業所は26.2%となり前回調査(21.3%)よりも増加した。

【臨時調査】経営課題について

現在会社で抱えている経営上の問題や課題について、選択肢16項目の中から上位3項目を挙げてもらった。その結果、1番目は「売上の不振」、2番目は「利益の伸び悩み」、3番目は「経費の削減」がそれぞれ一番多い回答となり、収入・経費に関する項目が最大の経営課題と考えていることがわかる。また経営課題1,2,3番目の全てで挙げられている「人手不足」と「人材育成の遅れ」が示すように、企業にとって人的要因が今後事業を維持していくうえでの喫緊の課題であることが伺える。



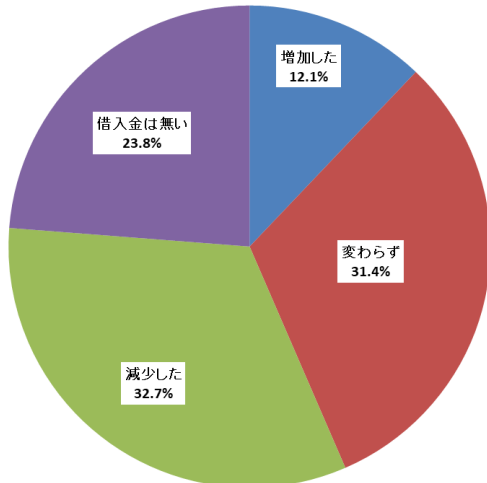
○経営課題〔選択肢〕

- | | |
|------------------|--------------|
| 1 売上不振 | 2 利益の伸び悩み |
| 3 人手不足 | 4 人材育成の遅れ |
| 5 後継者がいない | 6 情報や知識の不足 |
| 7 技術やノウハウの継承 | 8 設備の老朽化 |
| 9 経費の削減 | 10 代金回収条件の悪化 |
| 11 客数、顧客、取引先の減少 | 12 生産性の低さ |
| 13 IT化、DX化への対応 | 14 借入金の増加 |
| 15 金融機関からの借入れが困難 | |
| 16 その他 | |

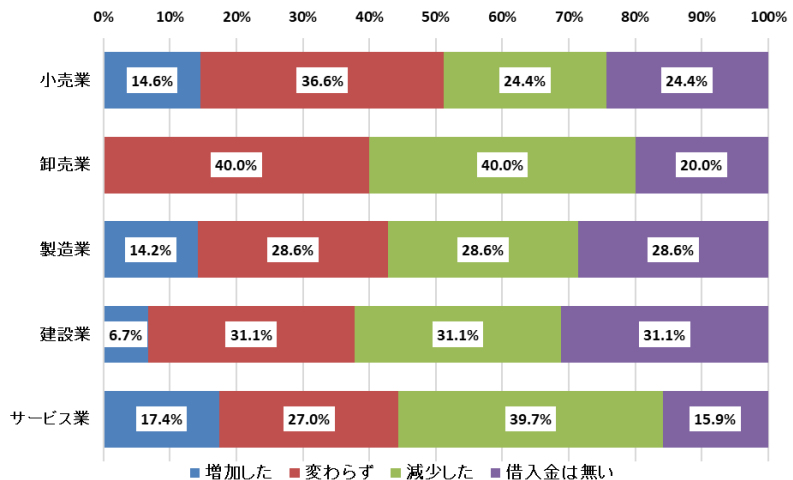
【臨時調査】借入金について

借入金の残高が昨年同期と比較してどうだったかを尋ねたところ、業種全体で「増加した」が12.1%、「変わらず」が31.4%、「減少した」が32.7%、「借入金は無い」が23.8%となった。業種別では卸売業で「増加した」という回答がなく、ほかの業種でも「増加した」の回答は2割に満たなかった。

借入金の残高は昨年同期と比較してどうか(全産業)

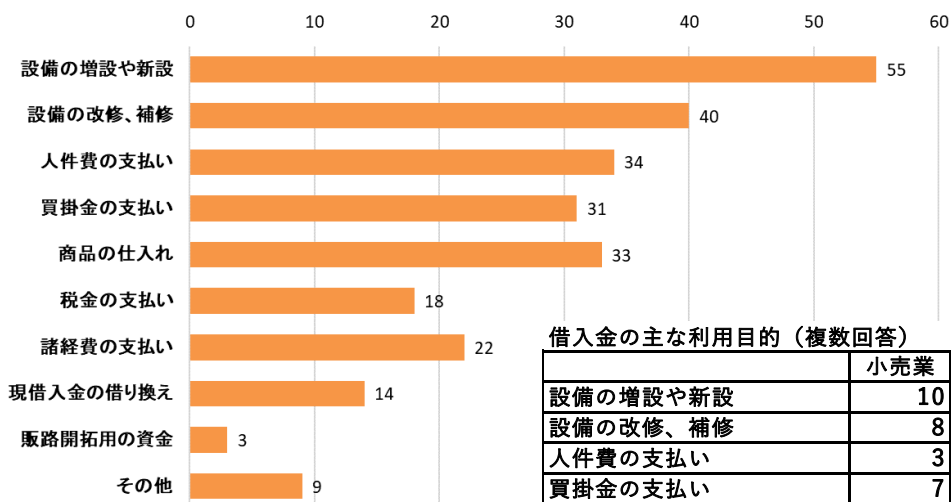


借入金の残高は昨年同期と比較してどうか(業種別)



借入金の主な利用目的を複数回答で尋ねたところ、業種全体で一番多かったのは「設備の増設や新設」、次いで「設備の改修、補修」となり、設備資金を最優先している事が伺える。また「人件費の支払い」「商品の仕入れ」「買掛金の支払い」等運転資金の利用も多く回答が寄せられている。これを業種別で見ると、製造業・サービス業は主な借入目的が設備資金に利用されているのに対し、小売業・卸売業・建設業は主な借入目的が運転資金に利用されており、業種間での違いが表れている。

借入金の主な利用目的※全業種(複数回答:件)



借入金の主な利用目的 (複数回答)

	小売業	卸売業	製造業	建設業	サービス業
設備の増設や新設	10	4	15	6	20
設備の改修、補修	8	3	14	2	13
人件費の支払い	3	2	7	10	12
買掛金の支払い	7	4	8	7	5
商品の仕入れ	12	5	2	8	6
税金の支払い	4	0	2	6	6
諸経費の支払い	3	2	4	3	10
現借入金の借り換え	1	0	7	4	2
販路開拓用の資金	1	0	0	1	1
その他	1	3	2	0	3

【自由意見(抜粋)】

(小売業)

- ・コロナが明けて外出する機会やイベントが増え、洋服の需要が増えた感がある。
- ・商品が値上がりして困る。
- ・お客様のサイフの紐が固くなったような感じがする。
- ・都市部の洗練された営業体制の企業が地方でも強みを増している。地方としてのやり方を変える努力をしているが、人材育成に課題を感じている。

(卸売業)

- ・まだまだ商品の値上げが止まらない。
- ・4月1日から残業時間の規制が原則化され、我々の業界においては2024年問題が現実味を帯び、様々な部分において見直しを迫られている。スピード感をもって対応していく必要がある。
- ・物流問題(2024年問題)対策のため、拠点の強化を図る。

(製造業)

- ・江刺工業団地の渋滞緩和に向けた取り組み内容が知りたい。フロンティアパークIIの創業が始まると尚更渋滞しそうだ。
- ・高齢化と若手人材不足により、将来の職人育成に不安がある。

(建設業)

- ・状況は非常に悪い。戸建て住宅は資材の高騰で工事現場は特に酷い。施工側も人手不足やインボイスの影響で高齢の職人の廃業が相次いでいる。又、全国的な賃上げが響いている。
- ・売上が伸びた分、税金の負担が大きくなった。
- ・コロナ対応資金の返済が大変になってきている。
- ・「DX推進室」を組織として新設し、これからの生産性向上や技術力継承・IT人材育成、今後予測される業況を踏まえ、会社として正式に取り組み始めた。

(サービス業)

- ・4月から値上げの商品材料が多く、価格を上げないでグラム数を減らして続けようと思う。
- ・高齢化に伴い、高齢者が老人ホームや家族のいる場所に移り住み、元居た住宅には誰もいない。
- ・物価、光熱費が上昇している。

◇奥州市景気動向調査票《実績1~3月期》

いつも大変お世話になっております。

標記につき、当てはまると思うものに○をつけ「4月19日(金)」までにご返信をお願い致します。

※この調査票の個別の記載情報は奥州商工会議所・前沢商工会内限りと致します。

事業所名

(1) 業種：あなたの事業の業種についてお答え下さい。

A 小売業 B 卸売業 C 製造業 D 建設業 E サービス業

(2) 業況判断：あなたの企業の業況は、前年同期(1月~3月)と比較してどのような状況と判断されますか？

① 1~3月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(3) 売上高：売上高(受注高・出荷高)は、前年同期(1月~3月)と比較してどうですか？

① 1~3月実績

増加	変わらず	減少
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

増加	変わらず	減少
----	------	----

(4) 採算：採算は、前年同期(1月~3月)と比較してどうですか？

① 1~3月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(5) 資金繰り：資金繰りは、前年同期(1月~3月)と比較してどうですか？

① 1~3月実績

好転	変わらず	悪化
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

好転	変わらず	悪化
----	------	----

(6) 仕入単価：仕入単価は、前年同期(1月~3月)と比較してどうですか？

① 1~3月実績

下降	変わらず	上昇
----	------	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

下降	変わらず	上昇
----	------	----

(7) 従業員数：従業員数は、前年同期(1月~3月)と比較してどうですか？

① 1~3月実績

不足	適正	過剰
----	----	----

 ② 向こう3ヶ月見通し

不足	適正	過剰
----	----	----

(8) 経営環境：1月~3月の経営状況について、該当する項目にお答え下さい。

①天候の影響

好影響・影響なし・悪影響

 ②人件費率

上昇・変化なし・低下

 ③業種間競争

緩和・変化なし・激化

④設備投資

行った・行わない

 ⑤設備投資予定(今後3ヵ月以内)

予定あり・予定無し

◎臨時調査

(9) 経営課題について：あなたの会社で抱えている経営上の問題点や課題は何ですか。以下の項目の中から3つの項目を番号で選択してください

- | | | |
|----------------|-----------------|-------------------|
| 1 売上の不振 | 2 利益の伸び悩み | 3 人手不足 |
| 4 人材育成の遅れ | 5 後継者がいない | 6 情報や知識の不足 |
| 7 技術やノウハウの継承 | 8 設備の老朽化 | 9 経費の削減 |
| 10 代金回収条件の悪化 | 11 客数、顧客、取引先の減少 | 12 生産性の低さ |
| 13 IT化、DX化への対応 | 14 借入金の増加 | 15 金融機関からの借り入れが困難 |
| 16 その他() | | |

1番目【 】 2番目【 】 3番目【 】

(10-1) 借入金について：あなたの会社の借入金の残高は昨年同期と比較してどうなっていますか

増加した	変わらず	減少した	借入金は無い
------	------	------	--------

(10-2) 借入金の主な利用目的は何ですか(複数回答)

- ・設備の増設や新設
- ・設備の改修、補修
- ・人件費の支払い
- ・買掛金の支払い
- ・商品の仕入れ
- ・税金の支払い
- ・諸経費の支払い
- ・現借入金の借り換え
- ・販路開拓用の資金
- ・その他()

(11) その他、最近の業況について感じている事、取り組んでいる対策について自由にご記入下さい。